

選手のための JB ルール・マナーガイド

(一社) 兵庫県ボウリング連盟 競技委員会

2021 年 7 月 11 日 作成

2022 年 5 月 28 日 改訂

2024 年 7 月 21 日 改訂

2025 年 6 月 29 日 改訂

0, はじめに

これまで各クラブやフランチャイズセンターで、スポーツボウリングに取り組んだ方は、ある程度ルール・マナーを知っているかと思います。ただ、JB では明文化されたルールや、過去の大会開催で積み上げてきたマナーなどがあります。

この資料には、それらルール・マナーや大会の流れなどを記載していますので、ぜひ一読し、選手の皆さんが県内大会および上部大会に臨む際の不安を少しでも和らげると共に、トラブルの未然防止に役立てて下さい。

なお、国民スポーツ大会・日本スポーツマスターズは JB 主催大会ではありませんので、それらに参加される方は監督からの連絡内容をよく確認して下さい。

※本資料は一般的なケースで記載していますので、各大会の主催・主管連盟や監督からの連絡内容がある場合は、そちらに従って下さい。

1, 参加登録 ※大会要項と下記で記載内容が異なる場合、大会要項に記載の内容が優先されます。

1-1、会員種別と参加可能大会の関係

会員種別	大会規模	参加可否
ジュニア会員	兵庫・関西・全日本	いずれも可
実業団部会員	兵庫・関西・全日本	いずれも可※
個人正会員	兵庫・関西・全日本	いずれも可※
個人普通会員	兵庫	「選手権大会」のみ不可※※
	関西	一部大会のみ可
	全日本	不可

※実業団部会員のみ参加可能／不可の大会あり。

※※兵庫県各地区選手権大会については、大会要項を参照して下さい。

1-2、大会参加申し込み

県大会… 各クラブで取りまとめて連盟に申し込みますので、所属クラブに登録料（大会によっては参加料）を添えて申し込んで下さい。期限は各クラブが設定します。

※各クラブから連盟への参加申し込み期限は、大会開催の 1 ヶ月前。

※クラブ-選手間の申し込み連絡に関する問題が頻発しています。口頭だけでなくメール・LINE を活用するなど、各クラブで対策を検討して下さい。

関西大会・全日本大会… 県代表選考会の案内を各クラブに配布します。期限までに所属クラブを通じて、登録料を添えて申し込んで下さい。

なお、県大会が県代表選考会を兼ねる場合があります。この場合は当日の開会式開始までに登録料を添えて申し込んで下さい。

（県大会申込時に代表選考会への登録意思の有無を連絡して下さい。この情報を参考にして兵庫県としての参加枠申請する場合があります。）

県代表選考会の結果、代表に選ばれた方には関西大会・全日本大会の参加申し込み案内を、クラブを通じて配布します。

参加を取りやめる場合は、次点選手繰り上げ対応もありますので、速やかに所属クラブを通じて連盟事務局まで連絡して下さい。

2, 大会までの準備

- ・体調管理には十分に気をつけて、健康な状態で大会に臨んで下さい。
- ・当日会場へ持ち込むボールを、ボール検査員（要資格）へ依頼して前日までに各クラブで全ての検査を行い、ボール検査合格証の発行を受けて下さい。当日大会会場でのボール検査は原則として行われません。
大会中は投球する利き手を変更することができません。負傷した場合のみ、大会役員の承認を得て反対の手で投球することができます。
また、ボールに開いている穴（凹みを含む）には必ず指を入れて投球しなければなりません。
入れずに投球した場合、そのゲームの得点は0となります。【競技規則第135条】
- ・当日持参する物を確認のうえ、準備して下さい。
JB 会員証・ボール検査合格証（当日会場へ持ち込むボール全て）・参加費・ボール登録料・ユニフォーム・JB ワッペンなど。
※公認 400 ゲーム以上達成者認定証・特別個人会員証を持っている人は、それらも持参。
- ・大会時の服装は、
上半身： 連盟登録済のユニフォーム（チーム戦の場合はチームで統一すること。男女色違いは可）
下半身： スラックス・スカート・運動用ショートパンツのいずれかを着用して下さい。【競技規則第137条・服装規則第2条】
- ・大会ごとに着用可能なユニフォームが異なります。大会要項に記載された内容をよく確認して下さい。
※兵庫県連ユニフォームは、実業団大会・クラブ対抗大会以外であれば着用可能です。
- ・仕事や学校行事などで大会に参加できなくなった場合は、クラブ長を通じて、連盟事務局へ不参加の連絡をして下さい。
- ・関西大会・全日本大会に出場の場合、大会前に県代表合同練習があります。主管連盟からの注意事項周知や、当日の集合時間など各種連絡、監督との顔合わせもあるので、必ず参加して下さい。
※国スポなど一部の大会を除き、現地集合・現地解散です。また、会場の駐車場収容可能台数によっては、各都道府県単位で駐車場利用証の発行枚数が制限されることがあります。（例：兵庫県は3台まで）
- ・関西大会・全日本大会では、ボウラーズエリアに持ち込めるボールは4個までと決められております。
外形的に4個以内であることが分かるようにボールバッグを準備して下さい。
例：ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つ。
- ・ボールを拭くタオルは、センター備え付けのものが無い場合もあるので、必ず各自で準備して下さい。
記録用紙記入用の筆記具も同様です。
- ・2個以上のボールを使用する場合、ボールベースも各自で準備して下さい。（理由は後述）
- ・大会のタイムスケジュールや会場の立地を確認し、食事を事前に購入して持ち込むか、現地調達するかを検討して下さい。

3, 大会当日の競技開始まで

- ・体調不良や急用で当日大会に参加できなくなった場合、監督を通じて、その旨の連絡をして下さい。
(連絡無しの欠場は、途中で事故に遭っているのではないかなどの心配を皆にかけます。
鉄道事故などの場合は事情が考慮される場合もありますので、集合時間に遅れる場合もまずは連絡を。)
- ・会場に到着したら、監督へ到着の連絡をして下さい。(2日以上大会は毎日到着の度に)
- ・ボール登録の際は、会場へ持ち込んだ全てのボールを登録して下さい。登録していないボールを持ち込んでいた場合、大会の記録は全て無効となります。【競技規則第 411 条】
公認 400 ゲーム以上達成者・特別個人会員の特典を使用してボール登録を行う場合は、それらの認定証・会員証をボール登録受付で提示して下さい。(特典有無は全日本・関西・兵庫大会で異なります)
- ・各シフト競技開始予定の 30 分前までに、競技受付を通過して下さい。通過しない場合、その種目は失格となります。【競技規則第 406 条】

4, 競技中

- ・ボウラーズエリアに持ち込めるボールの数に上限が設けられている大会の場合、遵守して下さい。
- ・ボールバック置き場においてあるボールを使用する際は、ボウラーズエリア内のボール数が上限を超えないよう、ボウラーズエリアにあるボールと交換するなどの対応を取って下さい。
この際、ボウラーズエリアを離れる場合は審判員に申し出たうえで、競技が遅滞しない範囲で行うこと。
- ・やむなく競技中にトイレに行く場合も、必ず審判員の許可を得てから行って下さい。【競技規則第 419 条】
- ・自分の投球順が来たらすぐ投球できるよう投球の準備をしておき、左右の BOX が空いている場合は、すぐにアプローチが上がって投球して下さい。左右の BOX で投げる準備をしている競技者がいる場合、同一 BOX の競技者が連続して投球することはできません。(1 ペアレーンカーティシー)
マシントラブル以外で他の BOX に比べて進行が遅れた場合、警告を受けることがあります。
【競技規則第 134 条】
- ・アプローチの状態を変更する物は全て使用禁止 (アプローチパウダーなど)。ハンドコンディショナーは競技会役員が指定する場所のみで使用可能です。【競技規則第 128 条】
- ・競技中の水分補給は、蓋の付いた容器の物で、ボウラーズエリア後方にて行うなど、水滴がボウラーズエリア内に落ちにくいよう配慮して下さい。
- ・ゲーム中に、ボールクリーナーの使用および、サンディングやポリッシュなどでボールを加工した場合、そのゲームの得点は 0 となります。
ボールクリーナーの使用および、サンディングやポリッシュは、ゲームとゲームの間(自分が 10 フレーム目を投げ終わってから、次ゲームの 1 フレーム目の投球順になる迄)に、ボウラーズエリア外かつ手で行う場合に限り認められます。
上記以外の表面加工は、競技開始前(練習投球中含む)やシフトとシフトの間に限り認められます。【競技規則第 136 条】
※マシントラブル等でボールが汚れた場合も、審判員の許可を得ない限りクリーナー等は使用できません。
- ・ボールリターン上には 1 人につきボール 1 つだけ置いて下さい。2 つ目はボールベースを用いて床面に置き、3 つ目以降はボールバックに入れて後方に。
※椅子にボールを置くことは、安全上問題があるので NG です。
- ・競技中にボールを拭くタオルやシャミーは、操作パネルの誤動作を防ぐため、操作パネルから離して置いて下さい。

・ファール判定器でファールが判定された場合は、以下の場合を除いて抗議できません。

① 判定器が正常に作動していないことが判明した

② その競技者がファールしていない証拠が多数存在【競技規則第 121 条・第 122 条】

・投球レーンや投球順を誤って投球し、その誤った投球が BOX 全員で 4 フレーム未満の場合、審判員に報告したうえで、間違ったフレームから正しいレーン・投球順で投球し直します。【競技規則第 119 条】

・1 投目投球前にピンが明らかに脱落している場合は、同じボックスの投球者に確認してもらってから、リセットボタンを押してリセットして下さい。【競技規則第 113 条】
リセットしてもなお脱落する場合は、審判員を通じてセンタースタッフによる対応を依頼して下さい。
(審判員にマシントラブルとして把握してもらうため)

・スコアの修正は、必ず審判員に依頼して下さい。明らかなカウントミスの場合も同様です。

・1 投目の投球により、残っているピンが最初の位置からずれた場合

①マシンがピンを倒さずにつかみ、セットできた場合は、そのまま 2 投目を投球して下さい。

②マシンがピンを倒してしまった場合は、ずれたピンを 1 投目投球前に在った位置に再度セットして、2 投目を投球して下さい。

(例：1 投目で 5 番ピンが 8 番ピン付近に移動して立ち、マシンが倒した場合は 5 番ピンとしてセットする。)【競技規則第 117 条】

・マシンタッチの場合の取り扱いは以下の通りです。【競技規則第 116 条】

ピンデッキのマシンが下がり始める前・もしくはレーキが動き始める前にピンが明らかに倒れた場合…
スコアとして認められる。

上記以外の場合… マシンタッチによるピン倒れとなり、スコアとして認められない。

1 投目でマシンタッチが起こった場合は、該当ピンを再度セットして 2 投目を行う。

・審判員に対して、自分が直接確認した事実を述べることは構いませんが、審判員の裁定に対して選手が直接異議申し立てをすることは禁止されています。監督を通じて行います (特に関西・全日本大会)。

・怪我や体調不良などで競技継続が不可能となり途中棄権する場合、審判員に申し出て下さい。
また、監督にも連絡して下さい。

5, 自分が競技しないシフトの行動

- ・ボールバッグをボール置き場へ移動させて下さい。(関西・全日本大会は必ずボール置き場が設けられます)
- ・ボール置き場が設けられていない場合は、競技や通行の妨げにならない場所に整頓して置いて下さい。
- ・食事などでセンター外へ一時退出するときは、監督にその旨を伝え、さらに競技進行が早まっているかを確認したうえで、競技受付に間に合うようセンターへ戻って下さい。
- ・自分が次シフトで競技する BOX には、前シフトの選手が片づけを終了し退出するまで、入らないで下さい。
また、前シフトの全 BOX の競技が終了するまで、アプローチに上がったりボールをバッグから出したりしないで下さい。(前シフトの競技進行の妨げとなります)
- ・予備レーンに設定されているところのボウラーズエリアには、立ち入らないで下さい。

6, 競技終了後（予選終了後を含む）

- ・記録用紙の提出が必要な場合は、読み取りやすい文字・数字で記入したうえで、記入漏れ・計算間違いが無いかを確認のうえ、速やかに指定された場所へ記録用紙を提出して下さい。提出遅れや読み取り困難な場合は大会の記録確定が遅延し、大会進行に遅れが生じます。
- ・予選通過の選手が決勝を棄権する場合、監督を通じて大会受付へ申し出て下さい。
(次点選手繰り上げの対応を取るため)
- ・表彰対象選手は、必ず表彰式および閉会式に参加して下さい。
- ・当日の競技・表彰が終了した選手でセンターを退出する際は、監督に連絡して下さい。
(2日以上大会は毎日退出の度に)

7, 最後に

- ・大会の開催は、参加選手だけでなく準備や運営に多くの方が携わることで成立します。選手間だけでなく、運営の方々へも積極的に挨拶するなどして、互いに尊重・感謝しましょう。

MEMO